

2026年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月13日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第1四半期の連結業績(2025年11月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第1四半期	607	3.4	1	—	0	—	△0	—
2025年10月期第1四半期	587	0.6	△10	—	△10	—	△8	—

(注) 包括利益 2026年10月期第1四半期 0百万円(—%) 2025年10月期第1四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年10月期第1四半期	円 銭 △0.10	円 銭 —
2025年10月期第1四半期	円 銭 △6.84	円 銭 —

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年10月期第1四半期	百万円 1,376	百万円 525	% 38.2
2025年10月期	百万円 1,419	百万円 525	% 37.1

(参考) 自己資本 2026年10月期第1四半期 525百万円 2025年10月期 525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日~2026年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,288	0.5	10	39.5	6	40.7	1	—	0.96
通期	2,565	2.1	23	56.8	15	21.4	3	△9.4	2.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年10月期1Q	1,171,600株	2025年10月期	1,171,600株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年10月期1Q	291株	2025年10月期	291株
-------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年10月期1Q	1,171,309株	2025年10月期1Q	1,171,358株
-------------	------------	-------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で物価上昇の継続による個人消費の停滞感や、米国の通商政策の動向、日中関係の悪化等が懸念要素となり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2025年11月から2026年1月までの、らん鉢取扱金額は966百万円（前年同期比6.0%減）、数量では249千鉢（前年同期比0.9%減）と、いずれも前年同期比微減傾向で推移いたしました。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進とオフィス緑化の提案に注力いたしました。ナーセリー支援事業におきましては、新規顧客開拓及び胡蝶蘭苗等の新たな仕入れ先の選定に注力いたしました。フューネラル事業は、既存顧客に対する販売促進と新規顧客開拓に注力いたしました。

全体としましては、物流費や人件費の上昇に加え、輸入花材や資材価格の高止まりが影響し、収益を圧迫しましたが、オフィス緑化やフェイクグリーンの上昇を順調に伸ばすことができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は607,061千円（前年同期比3.4%増）、営業利益1,137千円（前年同期は営業損失10,088千円）、経常利益443千円（前年同期は経常損失10,997千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失111千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失8,007千円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

（フラワービジネス支援事業）

フラワービジネス支援事業につきましては、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力いたしました。また、オフィス緑化案件が増加し、フェイクグリーンの上昇も順調に伸ばすことができました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は410,815千円（前年同期比10.8%増）となりました。

（ナーセリー支援事業）

ナーセリー支援事業につきましては、新規顧客開拓に注力いたしました。また、園芸資材の原材料やエネルギー価格の高止まりによる生産コストの上昇、さらに人件費や物流費の上昇も続くことから、胡蝶蘭苗等の新たな仕入れ先の選定を進めました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は131,335千円（前年同期比0.8%増加）となりました。

（フューネラル事業）

フューネラル事業につきましては、既存顧客への販売促進と新規顧客開拓に注力いたしました。葬儀業界全体の環境としましては、大都市圏を中心に家族葬や密葬、葬儀の小型化が進んでおり、全国的に葬祭規模は縮小傾向にあります。このような環境下、当社は花卉市場や葬儀業界関係各社とのコミュニケーションを通して、年々多様化していく葬儀形式や顧客のニーズに合わせた柔軟なサービスの提供を行ってまいりましたが、花材価格や物流費上昇の影響を受け、売上は前年を大きく下回る結果となりました。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は64,911千円（前年同期比24.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,376,822千円となり、前連結会計年度末と比べ42,290千円減少しました。

流動資産は1,159,094千円となり、前連結会計年度末と比べ37,554千円減少しました。その主な要因は、仕掛品が15,317千円増加した一方で、現金及び預金が22,921千円、受取手形及び売掛金が34,910千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は217,728千円となり、前連結会計年度末と比べ4,736千円減少しました。その主な要因は、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが3,188千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は850,865千円となり、前連結会計年度末と比べ42,448千円減少しました。

流動負債は444,000千円となり、前連結会計年度末と比べ12,191千円減少しました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が10,726千円、流動負債のその他に含まれております未払金が15,522千円それぞれ増加した一方で、買掛金が22,845千円、賞与引当金が14,687千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は406,865千円となり、前連結会計年度末に比べ30,257千円減少しました。その主な要因は、長期借入金が28,824千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は525,957千円となり、前連結会計年度末と比べ158千円増加しました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が255千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の業績予想につきましては、2025年12月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,263	651,342
受取手形及び売掛金	334,862	299,951
商品及び製品	34,977	33,594
仕掛品	122,125	137,443
原材料及び貯蔵品	1,315	1,315
その他	37,603	42,228
貸倒引当金	△8,499	△6,781
流動資産合計	1,196,648	1,159,094
固定資産		
有形固定資産	33,733	32,754
無形固定資産		
のれん	21,023	19,673
その他	43,331	39,686
無形固定資産合計	64,354	59,360
投資その他の資産		
その他	147,895	149,133
貸倒引当金	△23,519	△23,519
投資その他の資産合計	124,375	125,613
固定資産合計	222,464	217,728
資産合計	1,419,113	1,376,822
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,784	86,938
1年内返済予定の長期借入金	224,395	235,121
未払法人税等	5,620	2,940
賞与引当金	22,351	7,663
株主優待引当金	4,115	4,115
その他	89,925	107,221
流動負債合計	456,191	444,000
固定負債		
長期借入金	422,131	393,307
その他	14,992	13,558
固定負債合計	437,123	406,865
負債合計	893,314	850,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,012	143,012
資本剰余金	94,997	94,997
利益剰余金	285,805	285,709
自己株式	△561	△561
株主資本合計	523,254	523,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,543	2,799
その他の包括利益累計額合計	2,543	2,799
純資産合計	525,798	525,957
負債純資産合計	1,419,113	1,376,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年11月1日 至2026年1月31日)
売上高	587,022	607,061
売上原価	350,420	356,517
売上総利益	236,602	250,544
販売費及び一般管理費	246,690	249,407
営業利益又は営業損失(△)	△10,088	1,137
営業外収益		
受取利息	147	506
受取配当金	67	95
受取助成金	—	1,250
敷金償却戻入益	—	1,738
その他	335	1,723
営業外収益合計	550	5,314
営業外費用		
支払利息	1,459	1,976
為替差損	—	1,052
助成金未交付額	—	2,179
その他	—	800
営業外費用合計	1,459	6,008
経常利益又は経常損失(△)	△10,997	443
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,997	443
法人税、住民税及び事業税	1,414	1,326
法人税等調整額	△4,404	△770
法人税等合計	△2,990	555
四半期純損失(△)	△8,007	△111
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,007	△111

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
四半期純損失(△)	△8,007	△111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	255
その他の包括利益合計	92	255
四半期包括利益	△7,914	143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,914	143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	3,920千円	4,624千円
のれんの償却額	770千円	1,349千円